学校番号	T3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語 （通信教育）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　現代の国語　（第一学習者　出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、自主的に考え、自主的に行動する力が問われる教科です。
・家庭学習における課題を出します。提出期限を必ず守るようにしましょう。
・授業では、単元の簡単な説明・解説を行い、残りは家庭学習における課題取り組みになります。授業中に音読することはないので、指示された単元の予習を兼ねた音読を行い、わからない漢字の読みや意味を調べておいてください。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は学習計画を立てて臨むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	論説文 [教材]ナマケモノになる	ａ：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ｂ[　読　]: ・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ナマケモノの生態から考える競争社会での生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ｃ：・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・ナマケモノの他の種類について積極的に調べ、「ミツユビ・ナマケモノ」と対比してまとめようとしている。 ・比喩について積極的に理解を深め、本文中の比喩の効果を説明しようとしている。	発問評価 学習課題 集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題
	評論文 [教材]イースター島になぜ森がないのか	a:・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[　読　]:	発問評価 学習課題 集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・持続可能性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ｃ：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・個別の事例を一般化する文章の効果的な組立て方を理解し、学習課題に即して解釈を深めようとしている。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。 ・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。			
	評論文 ［教材］臆病な詩人、街へ出る	ａ：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ｂ［　読　］: ・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・人生や生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従	発問評価 学習課題 集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

		って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例に対する「チョーさん」の論理との関係を理解しようとしている。 ・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとしている			
	論説文 [教材]言語としてのピクトグラム	a:・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 b[　読　]: ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・日本のピクトグラム掲示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。 ・学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。	発問評価 学習課題 集の提出 定期考査	授業態度 指名音読 作文課題	指名音読 作文課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　２０　　）時間
・書くこと　…　（　　３０　　）時間
・読むこと　…　（　　２０　　）時間